

令和5年12月16日

全国大学生協同組合連合会 第67回通常総会  
お祝いのメッセージ

文部科学省 高等教育局 学生支援課長  
吉田 光成

本年も、全国各地の大学生協から多くの皆様のご参加を得て、「全国大学生協同組合連合会 第67回通常総会」が開催されますことを心からお慶び申し上げます。

全国大学生協同組合連合会におかれましては、前身である「全国学校協同組合連合会」が1947年に発足して以来、食堂運営、店舗運営、共済事業、キャリア形成支援等の幅広い事業を展開し、我が国の学生支援の充実に資する重要な役割を果たしてこられました。また、学生が安心して大学生活を送るためのセミナーの開催や、広報誌・ホームページによる全国各地の大学生協の取組の発信など、会員組織を支援する様々な事業を実施されております。これらの取組は、武川正吾会長理事をはじめとする関係者の皆様のこれまでの御尽力によるものであり、深く敬意を表する次第です。

また、2023年度の活動テーマとして「つながる元気、ときめきキャンパス。～協同で広がる、組合員の元気～」を掲げ、学生委員会をはじめ、多くの学生・大学院生・留学生等が参加し、学生目線で、学生主体の活動を大切にし、事業を実施してこられたことは、大変意義深いことでもあります。

各大学生協では、共済事業による療養支援や相談支援、学生間のつながり作りの場の提供、学食を活用した食事支援や情報提供等、様々な取組を実施しており、大学生協が大学と学生、あるいは学生同士をつなぐコミュニティとして大きな役割を果たしておられますことに改めて感謝申し上げます。

さて、貴連合会が実施されている、学生の消費生活に関する実態調査や、大学の教育の実態に関する各種調査などをみますと、コロナ禍以前と比較して、経済的な不安や就職への不安を抱えている学生が増加していることが明らかになっております。

このような中、昨年度に引き続き、現役学生や教員、関係機関が、高校生の保護者等の方々に向け、奨学金の仕組みに関する説明や、消費者問題等の大学生が遭遇するリスクなど、大学生活を始めるに当たり留意すべき点について説明を行う「保護者のための大学生活入門セミナー」を開催されたことは非常に意義深いことです。今後も個々の学生に寄り添い、学生生活を活発にさせるような活動が展開されることを大いに期待しております。

文部科学省といたしましては、経済的に困難を抱える大学生等が進学・修学をあきらめることのないよう、授業料等減免と給付型奨学金を併せた支援や貸与型奨学金の減額返還等の支援、障害のある学生支援、就職支援、インターンシップの推進等、学生生活における喫緊の課題に対応した必要な施策を引き続き推進してまいります。

どうぞ、皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

最後になりましたが、全国大学生生活協同組合連合会のますますの御発展及び関係する全ての皆様方の更なる御活躍と全国の大学生の皆さんの学生生活の充実を祈念いたしまして、お祝いのメッセージとさせていただきます。